

会 議 要 旨

会議の名称	第3回川越市駅周辺まちづくり懇談会																																
開催日時	令和8年2月17日(火) 10時00分 開会 / 12時00分 閉会																																
開催場所	川越市役所本庁舎4A会議室																																
出席者(委員)氏名	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">座長</td> <td style="width: 30%;">大澤 昭彦</td> <td style="width: 30%;">委員</td> <td style="width: 10%;">三友 奈々</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>湊 一成</td> <td>委員</td> <td>小武海 篤史</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>京尾 淳一</td> <td>委員</td> <td>鈴木 健二</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>東 徹</td> <td>委員</td> <td>野村 孝</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>小澤 正興</td> <td>委員</td> <td>齋川 清美</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>山下 正雄</td> <td>委員</td> <td>宮澤 和彦</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>須田 徹</td> <td colspan="2">※代理出席</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>寸田 英利</td> <td colspan="2">※代理出席</td> </tr> </table>	座長	大澤 昭彦	委員	三友 奈々	委員	湊 一成	委員	小武海 篤史	委員	京尾 淳一	委員	鈴木 健二	委員	東 徹	委員	野村 孝	委員	小澤 正興	委員	齋川 清美	委員	山下 正雄	委員	宮澤 和彦	委員	須田 徹	※代理出席		委員	寸田 英利	※代理出席	
座長	大澤 昭彦	委員	三友 奈々																														
委員	湊 一成	委員	小武海 篤史																														
委員	京尾 淳一	委員	鈴木 健二																														
委員	東 徹	委員	野村 孝																														
委員	小澤 正興	委員	齋川 清美																														
委員	山下 正雄	委員	宮澤 和彦																														
委員	須田 徹	※代理出席																															
委員	寸田 英利	※代理出席																															
欠席者	委員 小嶋 文																																
事務局職員職氏名	<p>都市計画部長</p> <p>都市基盤整備担当参事</p> <p>都市計画課長ほか都市計画課職員5名</p> <p>都市整備課長ほか都市整備課職員3名</p>																																
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 川越市駅周辺まちづくりビジョンについて (2) 今後のまちづくりに向けた取組について 3 その他 4 閉会 																																

議 事 の 経 過

議題・発言内容・決定事項

1 開会

2 議題

(1) 川越市駅周辺まちづくりビジョンについて

事務局より資料をもとに説明。

(2) 今後のまちづくりに向けた取組について

事務局より資料をもとに説明。

<意見等>

(委員)

提示されたまちづくりビジョンは川越市駅に特化した内容というより、他のどの駅にも当てはまる表現になっているように感じる。これまでの懇談会やワークショップでの意見が十分に反映されていない。川越市駅ならではの具体性を持ったビジョンにしてもらいたい。

(委員)

他のまちと比較すると、川越市駅周辺は将来的な土地活用の可能性があり、東武鉄道が所有する土地などの一帯は、極めて有効な利活用が見込まれる。このエリアの方針を打ち出すことによって、具体化につながるのではないか。将来に残せるまちづくりを考えなくてはならないが、原案ではその点についての検討が不足していると感じる。

(委員)

このまちづくりビジョンは総花的で尤もな内容だと思うが、なんらかの核を作らないといけない。川越市駅周辺の広大な土地をどのようにしていくのか明確になれば、もう少し具体性のあるビジョンとなるのではないか。

(委員)

他自治体のまちづくり計画と比較しても、課題や方向性はうまく取り込めていると捉えている。

(委員)

もう少し「川越市駅らしいビジョン」が示されるとよいのではないか。川越市駅や川越の魅力についてはこれまで多くの意見が出されており、それらを

さらに伸ばしていくのがよいのではないか。良い点を伸ばす視点と、課題をより明確に解決していく視点を川越市駅らしさとして、もう一段階具体化できるのではないか。

(委員)

ビジョンの対象が川越市駅周辺なのか、三駅なのか、川越市全体なのか、わかりづらい。中間拠点都市や三駅連携を前提とするのであれば、位置づけを明確にすべきである。

(委員)

三駅の関係性をどのように構築していくのか、どのような三角形を描いていくのかという点までは明確に示されていない。まちづくりビジョンの中でどこまで具体的に記載できるかは別としても、その方向性はしっかりと示す必要がある。

(委員)

ビジョン策定後の取組も重要であり、関係者がどの段階でなにをすべきかわかるようにすべきである。

(委員)

ビジョンとは、課題に対し、関係者でどの方向に向かっていくのかを示す道標であると考えている。ビジョンの中に具体的な施策まで盛り込むと、細かな要望が次々と出てきて、まとまりにくくなるため、より川越市駅らしさを表現しつつ、総花的であってもまずはビジョンを示すことが望ましい。

3 その他

4 閉会

以上